

ツルガ薬局 漢方症例 《 49歳女性 急な嘔吐、発熱、関節痛 》

■ 2014年8月18日

「吐気少し、熱があり、節々が痛く、寝返りがうてず、体の置き場がなくて寝ようにも寝ることができない」

【訴え】

昨日午後から急に吐気が起こり、たくさん吐いて脱水のようになったせいか、足（ふくらはぎの所）もつってきた。我慢できず今日の早朝に救急で病院へ受診。吐気止めの点滴をうってもらい、むかつきはなんとか治まり帰宅。

しかし、まだ熱が下がらず節々も痛み、内臓が動いていない感じもあり、寝ようにも身の置き場がなく寝返りがうてず眠ることが出来ない。何とかありませんか、と電話で相談。

【状況・問診】

この方は、普段から漢方薬や栄養剤を服用していて、ツルガ薬局で色々相談されている人。原因を尋ねると、急な吐気が出る前日に、お盆の花火大会でお孫さん等が帰ってきていて、自分も行っていないものの、雨に濡れて帰ってきたお孫さんの世話をしていました、とのこと。また、冷たい飲み物も飲んだ様子。

口渇（喉の渇き）なし、小便出が悪い、解熱剤を飲んでもほとんど熱が下がらない、葛根湯と解熱を一緒に飲むと少し汗が出てその場少し楽になるが症状取れず、手足の冷えは無し、食欲も無し。

四逆加人参湯（しぎゃくかにんじんとう）は、5回ほど飲んでみたものの、吐いてしまい飲めてないかもしれないが、今の症状は取れていない様子（本人は、飲んだが効いていないと表現）。

【考察】

この方は、普段から四逆加人参湯がよく合う方。急な嘔吐、下痢、発熱や体の痛みは、霍乱病（かくらんびょう）ですので、条文にある通り、基本は人参湯（にんじんとう）か五苓散（ごれいさん）で治りますが、この方の場合は過労と亡血（ぼうけつ：体の血の力が亡くなる程の状態）が元々ある方なので、手足の冷えは無くとも本来は四逆加人参を第一に飲んで頂くことが最善と考えます。しかし、すでに四逆加人参は飲んでいらっしゃるので、葛根湯で少し楽なこと、雨やクーラー、お孫さんの面倒を見ての陽気の不足からの表虚などを考え、表裏を治す桂枝人参湯にしました。（煩躁の茯苓四逆湯や風湿の甘草附子湯も考えたが…）

【経過・結果】

1回服用して、胸の所がスーッと楽になり、胃が動き出した感じあり、ガスが出て楽になった。体の痛みも楽になり寝れた。翌日かなり改善し、仕事にも出勤できた。

漢方の専門相談は、ツルガ薬局の漢方専門相談スタッフまでお気軽にどうぞ♪